

設計図書内「独自代価」における諸雑費の端数処理方法について

上越市ガス水道局において設定している「独自代価」の工種について、
「諸雑費」の端数処理方法については以下のとおり。

①代価表(歩掛表に率でない諸雑費があるもの)

単位数量当りの代価表の合計金額が、有効4桁となるように端数を計上する。

②代価表(歩掛表に諸雑费率があるもの)

単位数量当りの代価表の合計金額が、有効4桁となるように原則として所定の
諸雑费率以内で端数を計上する。一部、歩掛表の途中で計上するものもある。

以下の「諸雑費コード表」のとおり計上している。

諸雑費コード表

工種コード	名 称	諸 雑 費 率 表 記	諸雑費コード	端数処理
SX0501	鋼管切断工(エンジンカッター)	労務費×5%以内	Z1000Z2	有効4桁
SX0612	穿孔取出(铸铁管)	労務費×5%以内	Z1000Z2	有効4桁
SX0613	穿孔取出(鋼管・PE管)	労務費×5%以内	Z1000Z2	有効4桁
SY0301	X線検査工(ガス)	(機械+消耗費+労務費)×10%	Z1000Z3	有効4桁
SX0604	漏洩・漏水防止金具打工	労務費×1%以内	Z1000Z5	有効4桁
SX0303	保護管設置工	労務費×1%以内	Z1000Z5	有効4桁
SX0905	ガスパーシブ費(低圧)	労務費×20%	Z4002Z0	有効4桁
SX0905	ガスパーシブ費(中圧)	労務費×20%	Z4002Z0	有効4桁
SX0302	塗覆装工(熱収縮チューブ)	φ 50-100:5%, φ 150-500:6%, φ 600以上:8%	Z4002Z2	有効4桁
SX0625	電気溶接工	労務費×2%	Z4002Z6	有効4桁
SX0614	ターミナル取付工	労務費×2%	Z4002Z6	有効4桁
SX0903	デテクター検査費	労務費×20%	Z4002Z7	有効4桁
SX0902	管内清掃工(ビグ清掃)	材料費×0.1%	Z4002Z8	切捨円止
SX2000	遮断バイパス工事(PE管)	材料費×0.1%	Z4002Z8	切捨円止
SX2005	遮断バイパス工事(鋼管低圧用)	材料費×0.1%	Z4002Z8	切捨円止
SX2005	遮断バイパス工事(鋼管中圧用)	材料費×0.1%	Z4002Z8	切捨円止
SX2010	遮断バイパス工事(铸铁管)	材料費×0.1%	Z4002Z8	切捨円止
SX4000	遮断工事(PE管)	材料費×0.1%	Z4002Z8	切捨円止
SX4005	遮断工事(鋼管)	材料費×0.1%	Z4002Z8	切捨円止
SX4010	遮断工事(铸铁管)	材料費×0.1%	Z4002Z8	切捨円止
SX0904	耐圧気密検査費	(材料費+資材運搬+労務費)×20%	Z4002Z9	有効4桁
SX0904	気密検査費(低圧)	(材料費+資材運搬+労務費)×20%	Z4002Z9	有効4桁

設計図書内「第 6 号、第 7 号代価表の端数処理について」

当設計図書内の第 6 号、第 7 号代価表の機械等据付工の数量については小数第 4 位を四捨五入して小数第 3 位で算出している。

(260001-0)

本 工 事 費 総 括 表

工種：開削工事及び小口径推進工事等

費 目	工 種	種 別	細 別 / 規 格	単位	数 量	単 価	金 額	摘 要
直接工事費				式	1			
共通仮設費								
	共通仮設費率計算額			式	1			
純工事費								
	現場管理費			式	1			
		現場管理費率計算額		式	1			
工事原価								
	一般管理費等			式	1			
		一般管理費率計算額		式	1			
工事価格								
	消費税相当額			式	1			
本工事費								

「週休2日取得モデル工事」における補正係数を用いた諸経費率の算出方法について

令和6年4月以降

間接工事費

共通仮設費率の端数処理について

共通仮設費率(補正前)

算定式 $Kr = A \cdot P^b$

ただし、Kr: 共通仮設費率(%) ※小数第3位四捨五入2位止め

P: 対象額(円)

A・b: 変数値(工種区分により決まる係数)

共通仮設費率(週休2日補正後) = (共通仮設費率(補正前) × 施工地域補正係数) × 週休2日補正係数

※共通仮設費率の補正にあたっては、補正前の共通仮設費率(Kr)に施工地域補正係数をかけて小数第3位四捨五入2位止めを行い、さらに週休2日補正係数をかけ小数第3位四捨五入2位止めを行います。

現場管理費率の端数処理について

現場管理費率(補正前)

算定式 $Jo = A \cdot Np^b$

ただし、Jo: 現場管理費率(%) ※小数第3位四捨五入2位止め

P: 対象純工事費(円)

A・b: 変数値(工種区分により決まる係数)

現場管理費率(週休2日補正後) = (現場管理費率(補正前) × 施工地域補正係数) × 週休2日補正係数

※現場管理費率の補正にあたっては、補正前の現場管理費率(Jo)に施工地域補正係数をかけて小数第3位四捨五入2位止めを行い、さらに週休2日補正係数をかけ小数第3位四捨五入2位止めを行います。

- ◎留意事項
- 設計額算出時の週休2日に係る補正対象は、労務費・機械経費（賃料）・市場単価・標準単価・間接工事費率とする。
- なお、労務費の補正対象は、公共事業労務費調査対象の51 職種及び電気通信技術者、電気通信技術員、機械設備据付工、技術者（下水道）とすることから、見積と記載のある労務単価（ステンレス溶接工等）及びガスX線検査工の一部単価（X線検査 技術員・補助）並びに水道X線検査工の一部労務費（技師A及び技師B）は補正対象外となる。
- また、予定価格算出にあたっては、上越市ガス水道局「週休2日取得モデル工事（現場閉所型）」（令和6年4月試行）実施要領【土木工事】を確認し算出すること。

間 接 工 事 明 細 書 (当初)

令和6年度(春) 基準適用
 週休2日補正有 R 6 年度[春] 単価適用
 週休2日(4週8休) 適用地区： 上越⑥

費 目	計 算 根 拠 式			
共通仮設費 (率計算額)	$\begin{aligned} \text{率計算額} &= \text{対象額} \times (\text{標準率} + \text{補正率}) \times \text{係数} \\ &= \text{ } \times (\text{ } \% + \text{ } \%) \times \text{ } \\ \text{対象額} &= \text{直接工事費} - (\text{管材費} / 2) + \text{支給品費} - (\text{管材費} (\text{支給品費}) / 2) \\ &\quad + \text{無償貸付機械等評価額} + \text{事業損失防止施設費} + \text{処分費} (\text{準備費}) - \text{処分費控除額} \\ &\quad + \text{加算額} - \text{減算額} \\ &= \text{ } - (\text{ } / 2) + \text{ } - (\text{ } / 2) \\ &\quad + \text{ } + \text{ } + \text{ } - \text{ } \\ &\quad + \text{ } - \text{ } \\ \text{処分費控除額} &= \text{ } \\ \text{処分費等} (\text{直工} + \text{準備}) \div \text{対象額} &= \text{構成比} < > 3\% \\ &= \text{ } \% < > 3\% \end{aligned}$			
現場環境改善費 (率計算額)	$\begin{aligned} \text{率計算額} &= \text{対象額} \times (\text{標準率} + \text{補正率}) \times \text{係数} \\ &= \text{ } \times (\text{ } \% + \text{ } \%) \times \text{ } \\ \text{対象額} &= \text{直接工事費} - (\text{管材費} / 2) - \text{処分費等} (\text{直工}) + \text{支給品費} \\ &\quad - (\text{管材費} (\text{支給品費}) / 2) + \text{無償貸付機械等評価} + \text{加算額} - \text{減算額} \\ &= \text{ } - (\text{ } / 2) - \text{ } + \text{ } \\ &\quad - (\text{ } / 2) + \text{ } + \text{ } - \text{ } \end{aligned}$			
現場管理費 (率計算額)	$\begin{aligned} \text{率計算額} &= \text{対象純工事費} \times (\text{標準率} + \text{地域補正率} + \text{冬期補正率}) \times \text{係数} \\ &= \text{ } \times (\text{ } \% + \text{ } \% + \text{ } \%) \times \text{ } \\ \text{対象純工事費} &= \text{純工事費} - (\text{管材費} / 2) + \text{支給品費} - (\text{管材費} (\text{支給品費}) / 2) \\ &\quad + \text{無償貸付機械等評価額} - \text{処分費控除額} + \text{加算額} - \text{減算額} \\ &= \text{ } - (\text{ } / 2) + \text{ } - (\text{ } / 2) \\ &\quad + \text{ } - \text{ } + \text{ } - \text{ } \end{aligned}$			
一般管理費 (率計算額) 契約保証費	$\begin{aligned} \text{率計算額} &= \text{対象工事原価} \times (\text{標準率} \times \text{前払補正率}) \times \text{係数} - \text{端数調整額} \\ &= \text{ } \times (\text{ } \% \times \text{ }) \times \text{ } - \text{ } \\ \text{契約保証費} &= \text{対象工事原価} \times \text{契約保証補正} \\ &= \text{ } \times \text{ } \% \\ \text{対象工事原価} &= \text{工事原価} - \text{処分費控除額} + \text{加算額} - \text{減算額} \\ &= \text{ } - \text{ } + \text{ } - \text{ } \end{aligned}$			

週休2日補正係数	
地域補正係数	○ 地域補正対象外
施工地域・工事場所区分	補 正 係 数
一般交通影響あり①	
一般交通影響あり②	
市街地	
山間僻地及び離島	

週休2日補正係数	
地域補正係数	○ 地域補正対象外
施工地域・工事箇所区分	補 正 係 数
一般交通影響あり①	
一般交通影響あり②	
市街地	
山間僻地及び離島	

前払補正率				
前払金支出割合区分	0%から5%以下	5%超15%以下	15%超25%以下	25%超35%以下
補正係数				

※35%超40%以下 (補正なし)の場合

契約保証補正率	
保証の方法	補正值(%)
金銭的保証	
役務的保証	

(260001-0)

直接工事費内訳書

工種：開削工事及び小口径推進工事等

費 目	工 種	種 別	細 別 / 規 格	単 位	数 量	単 価	金 額	摘 要
【本設水道】SUS100A本管工事								Y11001//1
	材料費		本設水道 SUS100A N=1式	式	1			第1号明細表, AZ1002//1
	布設費		本設水道 SUS100A N=1式	式	1			第2号明細表, AZ1004//1
【本設水道】TSVP φ75本管工事								Y11101//1
	材料費		本設水道 TSVP φ75 N=1式	式	1			第3号明細表, AZ1102//1
	布設費		本設水道 TSVP φ75 N=1式	式	1			第4号明細表, AZ1104//1
直接工事費計								

(260001-0)

材料費 1式当り明細表							種別： 本設水道 形状： SUS100A N=1式 備考：	
第1号明細表 AZ1002-0000-01		名 称	規 格	単位	数 量	単 価	金 額	摘 要
		ステンレス鋼管:SUS304 S10	100A	m	0.2			F1001//1 見積り
		ステンレス溶接ロングエルボ 90° :SUS304 S10	100A	個	2			F1002//1 見積り
		一体型水位調整弁	内外面粉体塗装 主弁アングル型 100A	個	1			F1003//1 見積り
		鋼製配管振れ止め金具（加工込み）	図面番号5-3による	個	1			F1004//1 見積り
		ステンレス溶接差込フランジ:上水規格 SUS304	100A	枚	2			G4L0100 見積
		フランジ用AVパッキン	100A	枚	1			DF10100 見積
		緩み止めB.N付 SUS芯金入りパッキン	100mm	個	1			DFM8100 見積
		フランジ用ボルトナット:水協型 ステンレス製	100A 7.5K	組	2			DFG0100 見積
		合 計		式	1			
		単 位 当 り			1			

(260001-0)

第2号明細表 AZ1004-0000-01							種別： 本設水道 形状： SUS100A N=1式 備考：	
名 称		規 格	単位	数 量	単 価	金 額	摘 要	
フランジ継手工		7.5K 100mm	口	2			第1号表, SS0140//1 水道事業実務必携	
小口径鋼管据付工		φ 100mm	m	0.8			第2号表, SS0210//1 水道事業実務必携	
ステンレス鋼管電気溶接工		φ 100mm (4mm) 直流溶接	箇所	4			第3号表, SS0260//1 水道事業実務必携	
ステンレス鋼管切断工		切断＋開先加工 φ 100mm (4mm)	口	1			第4号表, SS0450//3 水道事業実務必携	
铸铁管継手取外し工		フランジ 7.5K 100mm	口	1			第5号表, SY0136//1 水道事業実務必携	
機械等据付工		質量:0.054t 割増無し 分類:第2類	式	1			第6号表, SH2001//1 水道事業実務必携	
機械等据付工		質量:0.005t 割増無し 分類:第7類	式	1			第7号表, SH2002//1 水道事業実務必携	
合 計			式	1				
単 位 当 り				1				

(260001-0)

第3号明細表
AZ1102-0000-01

材料費 1式当り明細表

種別： 本設水道
形状： TSVP φ 75 N=1式
備考：

名 称	規 格	単 位	数 量	単 価	金 額	摘 要
ストラブ [°] カブ [°] リンク [°] ：水道用グリップ [°] タイプ [°]	80A	個	1			G3D1080 見積
合 計		式	1			
単 位 当 り			1			

(260001-0)

第4号明細表 AZ1104-0000-01		布設費 1式当り明細表				種別： 本設水道 形状： TSVP φ 75 N=1式 備考：	
名 称	規 格	単位	数 量	単 価	金 額	摘 要	
硬質塩化ビニル管据付工	φ 75 (65) mm	m	0.5			第8号表, SS0320//1 水道事業実務必携	
機械継手工	φ 75mm	箇所	1			第9号表, SX0603//1 独自代価	
硬質塩化ビニル管切断工(撤去時)	φ 75	口	2			第10号表, SS0456//1 水道事業実務必携	
硬質塩化ビニル管撤去工	φ 75 (65) mm	m	1			第11号表, SS0321//1 水道事業実務必携	
ビニル管廃材処理費	処分先A	t	0.01			第12号表, SX0206//1 独自代価	
合 計		式	1				
単 位 当 り			1				